



熊西中学校だより

学校教育目標

みんなが生き生きと学び、

自主・自律・共生の力を育むことができるあたたかい学校



令和7年9月26日号
北九州市立熊西中学校
校長 中川 由美子

お年寄りに寄り添う勇気ある行動

18日(木)みなさんが登校する時間に杖をついたお年寄りが、雨で濡れた道路を歩いていました。

すると、お年寄りは段差につまずき転倒してしまいました。そこを通りがかった1年生の生徒が、すぐに駆け寄り、「大丈夫ですか」と何度も声をかけてくれました。また、転倒した時に杖や帽子などの荷物が散乱してしまい、それを拾って、お年寄りに寄り添ってくれていました。

そこに車で通りがかった人が、その様子を見て心配して、車から降りてきてくれました。1年生の対応に、車から降りてこられた方はとても感心していました。「生徒さんが何度も声をかけ、対応してくれていました。」と聞きました。この勇気ある熊西中の生徒の行動に、心があたたかくなりました。

このことについては、19日(金)の給食時間の放送でみなさんも知っていると思います。

あらためて、みなさんに考えてほしいのが、『勇気』ということです。

今回の1年生の行動はとても勇気がある行動だったと思います。どうでしょうか。

みなさんなら、転倒したお年寄りを見てどのような行動をとることができるでしょうか。

『勇気』・・・、みなさんは考えたことがあるでしょうか。



今月、生徒会役員選挙、立ち合い演説会がありました。立候補者の演説や応援者の演説、聞いていたみなさんにはどのように届きましたか。

私は、どの演説も堂々としたもので素晴らしく感じました。また、このような素晴らしい演説ができる熊西中学校の生徒を誇らしく感じました。立候補者のみなさんは、立会演説会までの間に、様々なことを考え決意をし、あの場所に立ってくれていると感じました。その勇気ある決意はとても素晴らしく、次への自分の人生に生かされるものとなることでしょう。

これからみなさんの生活の中で勇気をだして行動する場面というのが、いつか必ずでてきます。

自分の意見を伝えなければいけない場面、あまり話したことがない人に声をかける場面、授業中に発表する場面、大きな声で挨拶する場面、学級で注意をする場面、正直に話す場面など。

大人になっても勇気を出して行動しなければいけない時があります。

私は勇気を出して行動できた後、自分自身を嬉しく思いますし、逆に勇気をもって行動できなかったときは勇気がだせなかったことに悔しくなり、勇気をだせばよかったと後悔したこともありました。

勇気を出すことは自分の殻を破るチャンスでもあるし、自分を成長させることにもつながると感じます。

これから勇気を出して行動したり、挑戦したりする人が増えていくことを期待しています。

もし、どうすればよかったのか悩んだときは、人生の先輩である周りの大人に相談してみてください。きっと、あなたの次への一歩につながるアドバイスがもらえますよ。



本当の『勇気』・・・、考えてみてください。